



SSH 通信



広島大学附属高等学校

SSH 通信作成委員

2023 年度 第 9 号

2024 年 3 月 11 日発行

皆さんこんにちは。2023 年度 SSH 通信作成委員です。この SSH 通信では、本校の SSH プログラムの 1 年間の活動をお伝えしていきます。

第 9 号では、2024 年 1 月 9 日（火）～10 日（水）に行われた韓国（天安中央高等学校）訪日研修と、2024 年 2 月 19 日（月）～22 日（木）に行われたタイ（プリンセスチュラポーンサイエンスハイスクール（PCSHS）ムクダハン校）訪日研修について紹介します。

<韓国（天安中央高等学校）訪日研修 @本校>

【研修の概要】

昨年 7 月に韓国天安中央高等学校で行われた研修で一緒に学んだ仲間が来校し、再会を喜びながら、終始和やかな雰囲気での研修となりました。1 日目はまずお好み焼きの会食をしました。午後は本校の樋口先生による生物の授業で葉緑体の色素のクロマトグラフィーの実験を行い、その後お互いの学校で進めている課題研究のポスター発表を行いました。2 日目は本校の大方先生による化学の授業を受け、電気分解とメッキについて学習しました。その後 1 日目のポスター発表の続きを行いました。両日とも研究発表の際は英語で活発に議論が進み、私たちにとっても刺激的な経験となりました。閉会式の後には写真撮影を行い、別れを惜しみながら終了しました。（A. T）



【共同授業：生物】

生物の授業では、日本でも韓国でも身近で馴染み深い「海苔」を題材に、その色素をクロマトグラフィーで調べる実験を行い、その結果から海中での光合成に関して考察しました。常に英語を使う必要があり、内容も決して簡単ではありませんでしたが、知識は当然のこと、互いに理解し合おうとする姿勢の大切さや、身近なものでも社会問題に通ずるところがあるということを学びました。（T. A）

【共同授業：化学】



化学の授業では、鉄の腐食を防ぐためのメッキに関する実験を行いました。実際に電気分解を行ってメッキを作りながら、トタンやブリキなど、実社会では用途に応じてメッキの種類が使い分けられていることを学びました。化学ならではの専門用語もあり、韓国の生徒との意思疎通がなかなか上手くいかない場面もありましたが、英語科の山田先生に通訳に入っただきながら、何とか実験を協力して遂行でき、充実感のある時間となりました。（K. K）

【合同ポスターセッションを通して】

ポスターセッションでは、韓国の生徒と研究を通してコミュニケーションをとることができました。韓国の生徒は宇宙科学の分野についての研究を行っており、私たちとは異なる分野への関心が高いことが印象的でした。また、研究成果を企業に対してアピールしているチームもあり、社会に貢献することを視野に入れていることに感心しました。このポスターセッションで新たな刺激を得ることができ、自分たちの研究を進めより良いものとしていく糧を得ることができたと思います。（S. T）



【研修全体で得た学び】

私はこの研修で、国境を超えて研究仲間を持つことの楽しさを学びました。夏に私たちが天安を訪れた際、2 日間の交流で多くの生徒と友好的な関係を築くことができました。1 月の合同研修では久しぶりに彼らと再会でき、会話の内容はより深く、楽しいものになりました。今でも LINE などのテキストチャットを通じて、研究に関係あること、ないこと、さまざまなことについて意見交流を行っています。今後もこの交流できた友人関係を大切にしていきたいです。（J. T）



<タイ (PCSHS ムクダハン校) 訪日研修 @本校>

[研修の概要]

2月19日(月)～22日(木)の4日間、タイのPCSHS ムクダハン校の生徒8名が本校を訪れました。1日目はウェルカムセレモニーから始まりました。その後タイの生徒が私たちの授業に参加し、午後には広島大学のキラル研究の講義も受けました。2日目は株式会社サタケと広島大学両生類研究センターへ行きました。サタケの精米機器や広島大学の研究施設などを見学することができました。3日目には物理や論理・表現などで共同授業を行いました。最終日はSSHの日でお互いに研究についてポスター発表を行いました。最後はみんなでお別れ会を楽しみ、訪日研修が終了しました。(A. S)

[共同授業：物理]



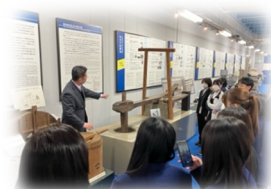
Niwat 先生 (PCSHS の物理の先生) による授業では、振り子運動に関する実験を行いました。授業の導入では、身近な振り子運動を用いたものについてユーモアを交えながら話され、とても良い雰囲気の中で授業に臨むことができました。実験では、時間経過に応じて、振り子運動の振幅と周期がどのように変化しているかを、タイの生徒と役割分担をしながら記録してグラフを作成しました。タイの生徒は私たちと積極的にコミュニケーションを図り、実験を先導してくれました。このような自主性を私もこれから身につけていくべきだと考えました。(S. Y)

[共同授業：論理・表現]

Fluke 先生 (PCSHS の英語の先生) による授業では、英語のプレゼンテーションにおけるイントロダクション (導入) の作り方を学びました。授業の最初に示されたスライド (I-----n) と、そこに当てはまる "Introduction" の文字数が異なるという壮大な導入で幕を開け、聞き手の興味を惹きつける英語プレゼンテーションの導入の大切さを実感しました。授業では、①構成要素 (Greeting, Hook, Background Information, Thesis Statement) を大切に、②Speaking ではミスを恐れずにとりあえず話してみる、という2点を学びました。タイの生徒とも交流できて、いつもとは違った刺激を受けることができました。(R. I)



[サタケ・広島大学訪問]



研修の2日目には、タイの学生たちと一緒に株式会社サタケの見学と、広島大学での特別研修に参加しました。サタケでは、稲作に使われた機械の歴史や、現在の米が出荷されるまでの過程を英語で学びました。広島大学では、特別講義を受講したり、両生類研究センターの見学をしたりしました。ウーパールーパーなどの珍しい生物を観察することができました。タイの学生たちと一緒に英語で会話しながら学びを深める経験は非常に貴重なものでした。(T. O)

[研修全体で得た学び]

タイの生徒たちとの共同研修を通して感じたことは、積極的に質問をすることの大切さです。英語での専門的な会話に初めは緊張しましたが、徐々に慣れ私たちからも積極的に質問や話し合いをするようになりました。そのような姿勢を学んだと思います。また、それぞれの国内で流行っていることや、普段の移動手段など、お互いの国の様子を知ることができ、国際的な視野が広がりました。(H. N)



韓国、そしてタイの生徒との共同研修を通して、幅広い価値観を持った人たちとのコミュニケーションの大切さを実感し、これからの研究に向けて視野を広げることができました。

第10号では、2024年2月22日(木)に行われた「SSHの日」(課題研究発表会)について紹介する予定です。